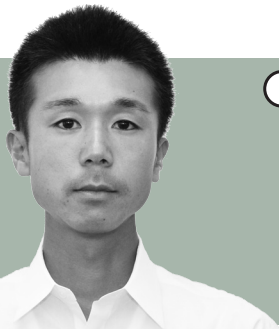


中山光平議員  
市民の会代表



## ○新しい生活様式の見直し提案と、感染者が出た場合の対策強化案

**問** 勝山市版「新しい生活様式」感染防止の3つの基本のうち、①「人との間隔は1m以上を確保」は、社会活動に過剰な制限がかかることを理由に見直しを提案したい。

**①**は主に接触感染、飛沫感染の対策と思われるが、仮に罹患者に接触してもその手で自分の粘膜（目、鼻、口等）を触らなければ問題なく、飛沫に關してもマスク等していれば隣同士で話しても問題ない。①は明らかに過剰である。

また感染対策だけでなく、これからの社会活動にも影響を与える。例えば、タクシーは運転手と対角に座っても1m確保することは難しく、介護施設等の送迎に關しても、①を適用すると送迎の回数も増え、更なる負担を強いることになる。飲食店においても本来の客数を大きく下回る中での営業を求められる。

このような状況では自粛があけたとしても、まともな社会生活を送ることができない。

以上を前提に、市民への理解を進めるために勝山市版「新しい生活様式」の見直しをする意思はあるか。また、その際には感染経路の遮断という理にかなった様式が望ましいが、市の見解を問う。

**答** 新型コロナウイルスに対するワクチンも効果的な治療薬もない中、当市では、市内から感染者を出さないことを目指して、国の新しい生活様式や県の行動指針をベースに、「人との間隔を1m以上確保」「マスクの着用、咳エチケットの徹底」「こまめな手洗い、手指等の消毒」を感染防止の3つの基本として、勝山市版「新しい生活様式」を策定した。

感染経路を断つことを重視し、感染防止の3つの基本等により、市民を感染症から守り、医療体制や地域経済活動の維持につなげるため、市民に勝山市版「新しい生活様式」に則した行動を強く要請し、ご理解とご協力をいただきたいと考えている。

## 一般質問Q&A

久保幸治議員  
日本共産党



## ○文化団体・芸術活動家への支援について ○国民健康保険税の(減税・減免による)値下げについて

そのほかの質問

- ・生活困窮者救済のための緊急な支出金の準備について
- ・地方行政・地方自治体から国・県への要望について

**問** 新型コロナウイルスの感染拡大で、全国では演奏会等の文化イベントが軒並み中止や延期に追い込まれている。市内のプロ、セミプロの演奏家やピアノ教師の経済的損失は、市内の業者と同様である。

市内の文化芸術の担い手を非常事態から救うことを念頭に、その支援をする必要性と文化芸術活動再開に向けた指針と支援策を具体的に示す必要性について、市の見解を問う。

**答** 市内のプロ演奏家等約40名に聞き取り調査を行い、教室が開けず収入が大きく減少したとの話を聞いた。現在、市に対する支援の要請は特になが、今後、要請・提案等があれば、文化活動の活性化の方策を相談してきたい。

市民会館等は、6月1日から勝山市版「新しい生活様式」に適合するよう各施設の使用基準を定め、一部、利用を再開している。県内外の感染状況等を確認し、徐々に通常の状態に近づけていきたい。

**問** コロナ災害で市民生活の困窮が予想され、受給額の少ない年金者や雇用調整で仕事が減った非正規社員、売り上げの激減した自営業者など、国保加入者にとって、国保の集金は、これまで以上に厳しいものになる。

各課が総力をあげて、市民救済の提案や制度・政策を作り実践しその評価を得る中で、3億5000万円以上の基金がありながら、加入者救済の値下げは考えないという国保担当課は、市民加入者を救済する気持ちがあるのか。

**答** 政府の「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」において、国の責任による国保税、国民年金保険料等の免除等の決定を踏まえ、早期に「勝山市税減免規則」の改正を行い、減免制度や猶予制度において対応したいと考えている。周知については、広報紙やホームページ、窓口の掲示チラシ等で行っている。

引き続き、相談に來れた方に対して親身に対応していきたい。